



船橋市議会議員（市民民主連合）

立憲民主党  
The Constitution  
Democratic Party of Japan

# 浦田秀夫通信

自宅 船橋市松が丘 4-31-5 TEL・FAX 047- 466-6019

事務所 船橋市高根台 6-38-9 TEL・FAX 047- 461-1350

127号（2019年夏季号） メール urata.hideo.1950@gmail.com ブログ浦田秀夫で検索

令和元年第1回定例会市議会が5月30日から7月3日までの会期で開かれました。市長からは低所得者の介護保険料軽減や放課後ルームの増設などの一般会計補正予算、残業の上限を規制する条例改正などが提出されました。これらの議案に対する質疑の内容や一般質問で取り上げた行財政改革プラン、生ごみ収集回数問題などについてご報告します。

## 子どもを産み育てやすい環境を作る ビジョンを示せ！ 行財政改革プラン

市は、学校の耐震改修や2つの清掃工場の連続建て替えなどの大型建設事業の市債(借金)の返済の増加、財政調整基金(貯金)の減少、社会保障費の増大により、財政状況が悪化するため、新たに年間30億円程度の財源捻出が必要として、行財政改革プランを策定しました。

### 市民サービスを縮小し、 市民に負担を求めるプラン

税金の無駄遣いをやめ、効率的な財政運営に努めることは必要なこととしながらも、提案されたプランは市民サービスを縮小し、市民に負担を求めるだけのものになっていると指摘しました。

市がこのプラン策定に当たって行なった市民アンケートの自由意見「高齢化の進展、労働人口の減少に伴い、公共施設の縮減はある程度やむを得ないが、そればかりでは縮小均衡に陥りかねない。長期的、総合的なビジョン、例えば少子化を防ぐために若い世代の誘致策などを策定し、併行して実施する必要があると思います。」



などを紹介し、若い世代が船橋市で子どもを産み育てやすい環境を作ることや高齢者が健康で長生きできる環境を作るビジョン・政策も合わせて示すことが必要であるとして、市長の見解を求めました。

答弁に立った副市長は「無駄の削減により捻出された財源を、子育てや高齢者の分野も含めて必要なサービスに配分して充実させることで船橋市を魅力あるまちにしたい」などと答弁しました。

答弁に対し、無駄の削減によって何を充実させるのか、具体的に示すべきだと指摘しました。

## 子育て支援に逆行するプラン

行財政改革推進プランの中には、若い世代が船橋市で子どもを産み育てやすい環境を作ることと逆行するプランが含まれていることを指摘しました。

小中学校児童入学援助金やひとり親家庭医療費助成費の検証、0～2歳児の保育料の見直しなど、こうした施策はむしろ充実させなければならないと質しました。

市は、指摘の事業は、目的や効果、他市との比較分析を行いながら、市民や関係者の声も聞きながら丁寧な対応をとっていきたいと答弁しました。

答弁に対し、こうした事業は充実させることを明記するよう求めました。

## 児童相談所設置の財源確保

子育て支援施策の一つとして児童相談所の設置があります。

市が独自に設置することは評価しますが、市にとって大きな財政負担を伴うものです。

6月7日に県内の国会議員、県議、市議の有志で厚労省と総務省に対し、中核市が児童相談所を設置するに当たって、国が十分な財政支援を行うことを求める要望書を提出してきました。(写真)

国は整備費や経常経費について交付税措置で対応する考えのようですが、地方交付税はいつ政府の都合で減らされるかわかりません。

国庫補助金として現金での支援を国に求めることを質しました。

市は、児童相談所を設置、安定した運営を行っていくためには、交付税措置ではなく国庫補助金等による確実な支援を国に要望していきたいと答弁しました。



## 入札制度のさらなる改革を

行財政改革プランに入札制度の改革が検討対象にも入っていません。

普通建設事業費は平成31年度で287億円で、平成32年度以降も200億円程度で推移する推計です。

入札制度の改革によって工事費が1割程度節約できれば、大きな税金の節約となります。

平成29年第3回定例市議会の決算委員会で1者入札、落札率99%問題を取り上げ、予定価格の事前公表の見直しや地域要件の拡大など入札制度の改善を求めました。

市は、平成30年度から入札制度を改善しました。その結果、平成30年度の建設工事契約の落札率は90%程度に改善され、工事費の約1割が節約されました。

ところが、今回議案と提案された西船橋駅第十自転車駐輪場増設工事は、落札率が98、56%と高止まりになっています。

地域要件のさらなる緩和など入札制度のいっそうの改革を求めました。

## 夏場だけでも週3回に！

### 生ごみの収集回数

紙おむつなどのごみが大量に発生する子育て世代や在宅介護をしている方々から、「収集回数を3回に戻してください。」「これから夏場を迎え、せめて夏場だけでも週3回にしてほしいという」市民の切実な声が選挙中も寄せられました。

市民からいただいたメールを紹介しながら、せめて夏場だけでも週3回に戻すことを求めました。

しかし、市の答弁は、変更は市民が混乱し、ごみ減量が後退する懸念があるので、週3回に戻すことはできないとの冷たい答弁でした。

市民の想いは市長に届きませんでした。

このことは、しっかりと記憶にとどめ、次の選挙の投票行動によって市民の意思を示すことが必要です。

## 議案に対する質疑

### 介護保険料の減免制度

#### 分かり易い周知を

10月の消費税率10%への引き上げに合わせて、第1段階から第3段階の低所得者に対する介護保険料の負担軽減強化を行うための補正予算と条例改正が提出されました。



軽減対象者は第1段階が25,501人で軽減額は4,770円(年額)、第2段階が9,026人で軽減額は7,950円、第3段階が9,239人で軽減額は1,590円です。

船橋市には、世帯の収入が生活保護基準の1、2倍未満で、一人当たりの貯金金額が200万円以下の場合、申請すれば第1段階の人は保険料の2分の1を、第2、第3段階の人は3分の1を軽減する制度があります。

第1段階から第3段階までの方は合わせると43,736人いますが、減免申請者はわずか269人しかいません。

これは、世帯の収入が生活保護基準の1、2倍未満と言われても、自分がこれに該当するかどうか市民にはよくわかりません。

例えば「高齢者2人世帯の場合、世帯の収入が何万円未満なら対象になる」などわかりやすく周知することを求めました。

市は指摘された通り、制度をわかりやすく周知する方法について研究したいと答弁しました。

### 待機児童と支援員不足解消を

#### 放課後ルーム

待機児童が20名以上発生している芝山西放課後ルームと薬円台放課後ルームの定員拡大を図るために校舎の改修を行う補正予算が提

出されました。

放課後ルームの待機児童は、5月1日現在で327人に達しており、20名以上の待機者がいる放課後ルームは9箇所となっています。

また、支援員、補助員不足も深刻で4月1日現在で177名が不足しています。

これらの解消対策について質問しました。

市は、学校敷地内での整備や周辺の民間施設の活用などを検討していきたい。支援員、補助員の人員確保にむけて努力していきたいなどと答弁しました。

### 新たな待機児童解消

#### プラン作成を

認可保育所の新設整備を行う事業者に整備費の一部を補助する補正予算が提出されました。



これによって今年度354人の定員増が図られることになります。

しかし、5月1日現在の待機児童数は市の基準で534人となっています。

10月からの幼児教育・保育の無償化によって待機児童がさらに増加することが予想されることから、早急に新たな待機児童解消プランを作る必要があると質問しました。

市は、令和2年度から新たな子ども・子育て支援事業計画の策定作業を進めているところで、待機児童の多いエリアに重点的に施設整備を行い待機児童の解消に取り組んでいきたい。

幼児教育・保育無償化の影響については、実施後の動向を見守りたいなどと答弁しました。

この他、薬円台駅近くの交差点整備費や職員の残業の上限を規制する条例改正、藤原市民の緑地用地取得などについて質疑を行いました。

これら提案された一般会計補正予算及び条例改正、用地取得について賛成しました。

## 5,008 票で 8 期目の当選

4月21日投票で行われた市議会議員選挙で、5,008票をいただき全体の3位で8期目の当選を果たすことができました。

市民の皆様にご心より感謝申し上げます。

初心に立ち返り、市民の想い、願いを市政に届けるために一生懸命頑張っております。

委員会は建設委員会に所属し、都市計画審議会委員に任命されました。

## 会派 市民民主連合を結成

立憲民主党、国民民主党、無所属の議員8人で会派「市民民主連合」を結成しました。

市長に対しては是々非々の立場で、市政をチェックし、市民の立場から政策提言を行っていきます。

## 意見交換会のお知らせ

日時 8月11日(日)

午後3時30分～

会場 高根台公民館

第4集会室



市政や国政に関する意見交換会を開催します。どなたもご自由にご参加ください。

皆様のご意見、ご要望をお聞かせください。

浦田秀夫議員からは、令和元年第1回定例市議会(6月)や第2回定例市議会(9月)にむけた報告を行います。

終了後、希望者で暑気払いを予定しています。



## 火垂るの墓 上映会

入場無料

上映会日程 (各会場、先着40名様に限りです)

高根台公民館 第1集会室

7月27日(土) 午後3時30分～

7月28日(日) 午後3時30分～

二和公民館 音楽室

8月3日(土) 午後3時30分～

8月4日(日) 午後3時30分～

主催 原爆の絵展・平和の集い実行委員会

問合せ先 461-1350

## 原爆の絵展

今年も、原爆の被爆者が描き残した原爆の絵展が開催されます。

絵展を通じて戦争の悲惨さ、平和の尊厳が市民に伝わり、核兵器廃絶にむけた機運が高まることが期待されます。

皆様のご参加をお待ちしています。



## 原爆の絵展日程

高根台公民館 1階ロビー

7月27日(土)～28日(日)

午前10時～午後5時まで

二和公民館 3階ロビー

8月3日(土)～4日(日)

午前10時～午後5時まで

主催 原爆の絵展・平和の集い実行委員会

電話 461-1350